

食物アレルギーを起こした子どもへの対応

指導 こまたアレルギー科小児科クリニック 院長 小俣 貴嗣 先生

食物アレルギーは、卵や乳製品、小麦、ピーナッツ、果物類、甲殻類(えび・かに)などが原因となつて起こるアレルギーで、重症化すると命に関わることもあります。また、小学生になって初めて症状が出ることもあるため、子どもがアレルギー症状を起こしたときの対応を覚えておきましょう。

食物アレルギーの初期対応

原因となる食べ物を食べたときだけではなく、皮膚についたり、目に入ったりしたときもアレルギー症状を起こすことがあるので注意が必要です。

<p>原因食物を口に入れた</p> <p>すぐに口から吐かせて、 口をすすぐ</p> 	<p>原因食物が皮膚についた</p> <p>洗い流す</p> 	<p>目の症状がある</p> <p>洗顔後、点眼薬があれば 点眼する</p> 
--	--	---

初期対応を行う際には、子どもから目を離さないようにします。

／ すぐに病院に行く必要がある症状 /

下に挙げた症状が1つでもあるときは、医療機関に搬送する必要があります。エピペン®を持っている場合はすぐに注射します。

消化器の症状	呼吸器の症状	全身の症状
<ul style="list-style-type: none"> 繰り返して吐き続ける 持続する強いおなかの痛み 	<ul style="list-style-type: none"> 喉や胸が締めつけられる 声がかすれる ・息がしにくい 犬がほえるようなせき 強いせき込みが続く ゼーゼーする呼吸 	<ul style="list-style-type: none"> 唇や爪が青白い 脈が不規則 意識が無い、もうろうとしている 尿や便をもらす

エピペン®とは

食物アレルギーなどによって呼吸が苦しくなったり、繰り返し吐いたり、強い腹痛が続いたりするなどといった危険な状態を「アナフィラキシー」と呼びます。アナフィラキシーに対して有効なのが「エピペン®」です。エピペン®の中には症状を抑える薬液(アドレナリン)が入っていて、先端のオレンジ色のカバーを皮膚(服の上)に押し当てると、カバーの中にある注射針が薬液とともに出て、筋肉注射をすることができます。



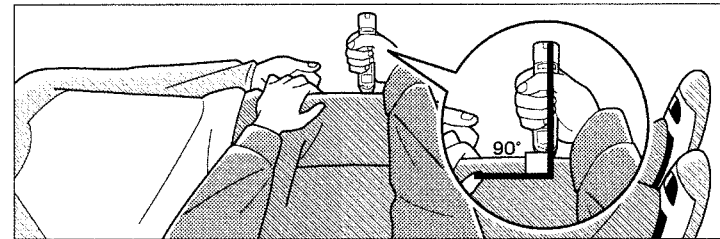
エピペン®の使い方

①安全キャップを外し、エピペン®の中心をしっかりと握る



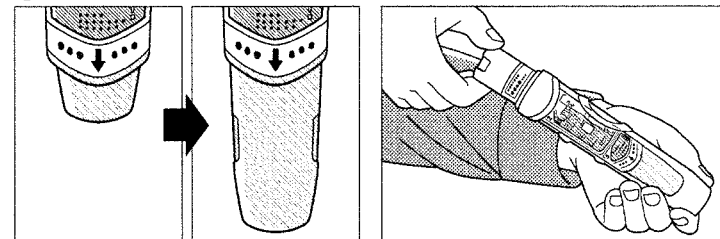
エピペン®を握るときは、先端に指をかけないように注意します。

②太もの中心から外側あたりに注射する



カチッという音が出るまで押し当てたら、3~5秒待ってエピペン®を抜きます。

③先端部分が伸びているのを確認し、携帯用ケースに戻す



先端部分が伸びているため、携帯用ケースのふたは閉まらなくなっています。

食物アレルギーを起こした子どもへの対応

指導 こまたアレルギー科小児科クリニック 院長 小俣 貴嗣 先生

食物アレルギーは、卵や乳製品、小麦、ピーナッツ、果物類、甲殻類(えび・かに)などが原因となって起こるアレルギーで、重症化すると命に関わることもあります。また、小学生になって初めて症状が出ることもあるため、子どもがアレルギー症状を起こしたときの対応を覚えておきましょう。

食物アレルギーの初期対応

原因となる食べ物を食べたときだけでなく、皮膚についたり、目に入ったりしたときもアレルギー症状を起こすことがあるので注意が必要です。

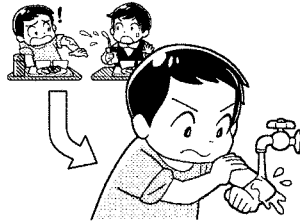
原因食物を口に入れた

すぐに口から吐かせて、
口をすすぐ



原因食物が皮膚についた

洗い流す



目の症状がある

洗顔後、点眼薬があれば
点眼する



初期対応を行う際には、子どもから目を離さないようにします。

すぐに病院に行く必要がある症状

下に挙げた症状が1つでもあるときは、医療機関に搬送する必要があります。エピペン®を持っている場合はすぐに注射します。

消化器の症状	呼吸器の症状	全身の症状
<ul style="list-style-type: none"> 繰り返して吐き続ける 持続する強いおなかの痛み 	<ul style="list-style-type: none"> 喉や胸が締めつけられる 声がかすれる ・息がしにくい 犬がほえるようなせき 強いせき込みが続く ゼーゼーする呼吸 	<ul style="list-style-type: none"> 唇や爪が青白い 脈が不規則 意識が無い、もうろうとしている 尿や便をもらす

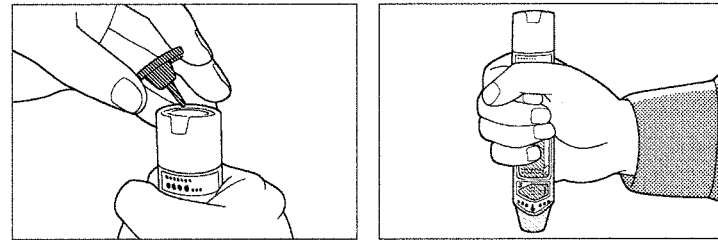
エピペン®とは

食物アレルギーなどによって呼吸が苦しくなったり、繰り返して吐いたり、強い腹痛が続いたりするなどといった危険な状態を「アナフィラキシー」と呼びます。アナフィラキシーに対して有効なのが「エピペン®」です。エピペン®の中には症状を抑える薬液(アドレナリン)が入っていて、先端のオレンジ色のカバーを皮膚(服の上)に押し当てると、カバーの中にある注射針が薬液とともに出て、筋肉注射をすることができます。



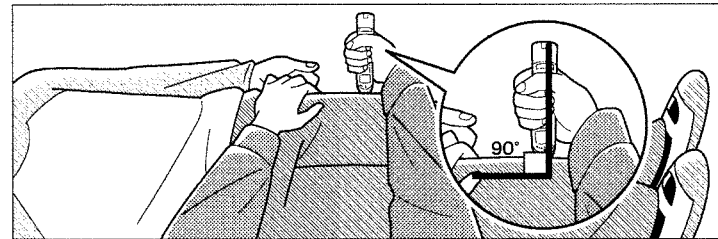
エピペン®の使い方

①安全キャップを外し、エピペン®の中心をしっかりと握る



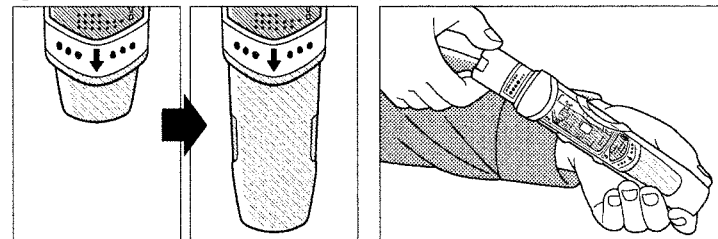
エピペン®を握るときは、先端に指をかけないように注意します。

②太ももの中心から外側あたりに注射する



カチッと音が出るまで押し当てたら、3~5秒待ってエピペン®を抜きます。

③先端部分が伸びているのを確認し、携帯用ケースに戻す



先端部分が伸びているため、携帯用ケースのふたは閉まらなくなっています。